

## 平成14年度 情報工学コース卒業研究報告要旨

稲垣 研究室	氏 名	柳 詰 進介
卒業研究題目	日英翻訳チャットにおける 翻訳精度向上のための日本語前処理	
<p>近年、インターネットの普及によりチャットによるコミュニケーションが盛んになっている。それに伴い、異言語間で会話ができるチャットシステムが要求されている。しかし、チャットの会話文には顔文字や主語の省略などの通常書き言葉には見られない特徴が存在し、これまでの翻訳システムはチャットの入力文には十分に対応できないところがある。そこで本研究では、チャット会話文に現れる特徴の一つである名詞-動詞間の助詞の省略に対処するために、助詞の補完による翻訳結果の向上を目指した。</p> <p>名詞と動詞の間に助詞を補おうとする場合、従来の手法では名詞がどのような種類(場所、人名、物など)のものであるかの情報と、その名詞の後ろの動詞からそこに入る助詞を推定するものであり、このような手法の場合、出現する名詞の種類を辞書に登録する必要がある上、各種類の名詞と動詞との格関係を登録した辞書が必要となるので辞書作成のコストが大きくなる。しかし、1つの動詞に対して複数の種類の助詞が省略されてしまうと発話の意図が正確に伝わらなくなる可能性があるため、各動詞に対して省略される助詞はある程度決まっていると考えられる。</p> <p>そこで本研究では、チャット会話文のログを見て、例えば「リンゴ買った。」という文があった場合に助詞‘を’を補完して「リンゴを買った。」とするように、名詞と動詞の間に助詞が省略された箇所人手で助詞を補完し、補完した助詞とその後ろの動詞の組を辞書に登録し統計をとった。そして、入力文で名詞と動詞の間に助詞が省略されている文が与えられた場合、省略の後ろの動詞に関して辞書に登録された助詞と動詞の組のうち最も出現頻度の高い助詞を補うという手法を提案し実装した。</p> <p>この手法によってチャット会話文のログ9849文の統計をとり、これとは別のログ8804文に対してオープンテストをしたところ、助詞が省略された316箇所において89.2%の割合で正しい助詞を付加した。また、正しい助詞が付加された文のうち66.7%について翻訳結果の向上が見られた。</p>		